

山本大臣閣議後会見

平成25年10月15日

宇宙開発利用大賞表彰式

平成25年10月10日(木) 於 科学技術館 サイエンスホール

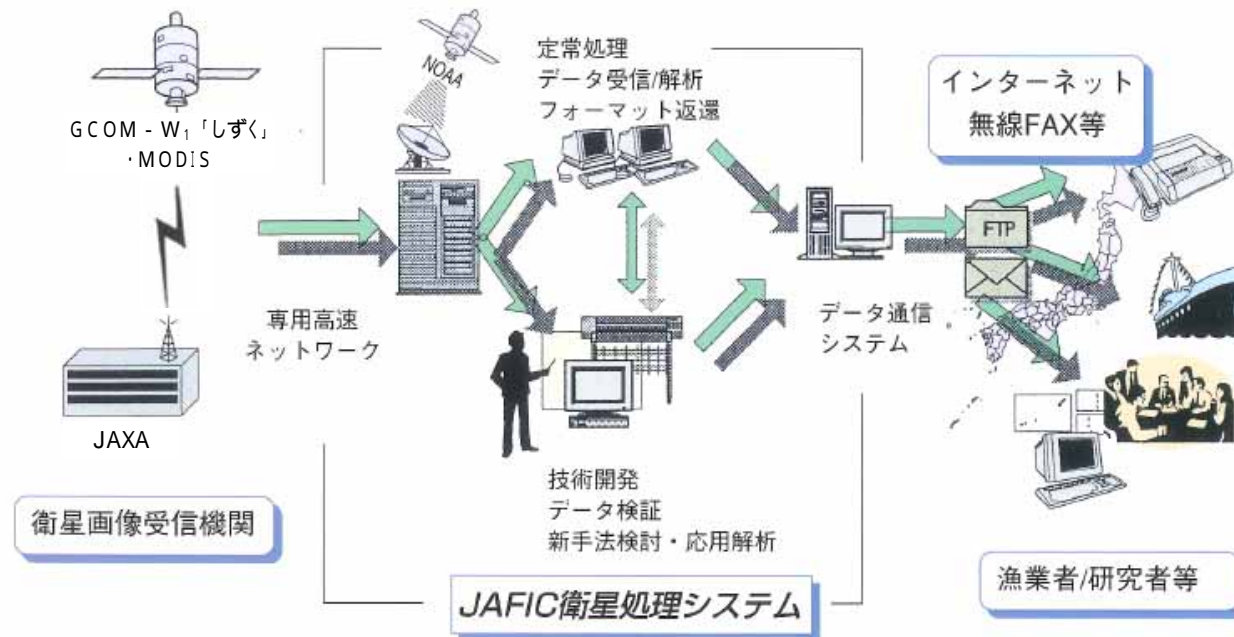


内閣総理大臣賞

宇宙を利用した漁場探索技術の確立と衛星利用海況情報の提供 (一般社団法人 漁業情報サービスセンター)

■ 事例の概要

科学と縁遠い「勘と経験の漁業」と「先端技術の宇宙開発」とを結びつけ、漁業を近代化。
高騰する燃油を16.1%節約。
パソコンを搭載する漁船が増加。
若い船頭が増加し、後継者の育成に寄与。



漁業情報サービスセンター(JAFIC)の衛星データ処理解析提供システム



漁船における衛星情報利用

内閣府特命担当大臣（宇宙政策）賞

準天頂衛星のLEX補強信号を利用した農機ガイダンス・自動走行システム
(日立造船株式会社 神崎 政之氏、林 稔氏
国立大学法人 北海道大学 野口 伸氏)

■ 事例の概要

将来の農機IT自動走行を目標として、準天頂衛星からの補強信号を利用した高精度リアルタイム測位を行い、低速移動体である農機のアシスト走行を実証。

準天頂衛星の利用が、IT農業をはじめIT施工など幅広い分野で有効な手段であることを示し、準天頂衛星の利用を促進。



直線道路における精度検証実験



まとめ

安倍総理は、本年を「宇宙利用」元年と位置づけ

これからの宇宙政策の基本方針は、これまでの研究開発重視から、出口を見据えた利用拡大重視への転換

今回の受賞事例のような取組を手本とし、我が国の宇宙開発利用が今後一層拡大し、我が国の発展の原動力となることを期待